

款	項	目	担当部局・課名		地域振興部地域振興課			
2	1	8	事業名				集落支援員事業	
事業区分		継続事業（内容見直し）		第5節 参加と行動による、つながる「しくみづくり」				
節名称				予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	①	報償費（⑤その他報償費）		11,965	11,584	0	381	97.0%
	②	役務費（④手数料）		2	2	0	0	100.0%
	③						0	
	④						0	
	⑤						0	
補正 区分	6月補正		12月補正	⑥（①～⑤の計） →			11,586	決算に関する説明書
	9月補正		3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →				該当/頁 102,103
	臨時会 補正			⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →			11,586	該当/頁 104,105
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和4年度 特定財源 内訳	11,586	0	0	0	0	11,586		
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	地域集落内の巡回や住民との対話など、地域課題の掘り起こしや対策の検討、定住などを行い、集落の維持・活性化対策を自治組織と連携して推進していくため、希望する13地区に集落支援員を配置した。							
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<b>報償費（⑤その他報償費） 11,583,590円</b> 配置人数：13人 配置地区：河内、川地、和田、神杉、田幸、川西、君田、布野、作木、吉舎、三良坂、三和、甲奴 活動内容：空き家の実態調査やその集約、定住希望者からの相談や空き家提供者とのマッチング 地域の人をつなぐ取組や地域内の話し合いの促進など							
	集落支援員活動の様子 							
別添資料等	無							
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	集落支援員事業により、空き家の調査や空き家バンクの登録促進はもとより、物件購入者など移住者へのフォローなど地 域での様々な活動に取り組んでおり、持続可能なまちづくりに係る役割は大きい。 また、集落支援員の発想や取組により自治組織の活動が前向きに進み、若い世代の自治活動への参画の促進につな がった地域もあり、集落支援員が地域づくりに対し大きな役割を果たしている。							

款	項	目	担当部局・課名		地域振興部地域振興課			
2	1	8	事業名				地域の未来づくりアドバイス事業	
事業区分		継続事業 (内容見直し)		第 5 節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」				
節名称				予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	①	委託料 (①業務物件費 (物件費))		2,600	2,596	0	4	100.0%
	②						0	
	③						0	
	④						0	
	⑤						0	
補正 区分	6月補正		12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		2,596	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			該当/頁	102,103
	臨時会 補正			⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		2,596	該当/頁	104,105
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和4年度 特定財源 内訳	2,596	0	0	0	0	2,596		
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	住民自治組織の現状から課題を把握し, 持続可能なまちづくりを推進していくため, 各住民自治組織 (19地区) の人口分析及び人口推移シミュレーションを行い地域の状況の見える化を図った。また, 令和4年度からは, 希望する5地区に対し, ワークショップを開催するなど, 持続可能なまちづくりを推進するための取組に対する支援を行った。							
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p><b>委託料 (①業務委託料 (物件費)) 2,596,000円</b></p> <p>【委託先】一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所 (所長: 藤山浩)</p> <p>○各自治組織 (19地区) ごとの人口分析及び人口シミュレーション, 介護分析及び介護シミュレーション</p> <p>○希望する地区に対し支援を実施 (5地区)</p> <p>実施地区 (河内, 三次, 神杉, 吉舎, 甲奴)</p> <p>ワークショップの様子</p> 							
別添資料等  無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより, どのような成果や効果をもたらしたのか	<p>少しずつではあるが各地区の課題解決に向け, 地区内で新たな「集いの場」や若い世代による取組, 新たな事業を始めるための話し合いの実施など, 動きがみられる地域もでてきている。</p> <p>今後も, 地域の希望より, 地域づくりへのアドバイスを進め, 各地区の特色をいかしたまちづくり活動を進めて行く。</p>							

款	項	目	担当部局・課名		地域振興部地域振興課			
2	1	8	事業名				地域資源活用支援事業	
事業区分		継続事業（内容見直し）		第5節 参加と行動による、つながる「しくみづくり」				
節名称				予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	①	負担金、補助及び交付金（⑤補助金（補助費））		14,650	13,248	0	1,402	90.0%
	②						0	
	③						0	
	④						0	
	⑤						0	
補正 区分	6月補正		12月補正	⑥（①～⑤の計） →		13,248	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正 ○	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →			該当/頁	102,103
	臨時会 補正			⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →		13,248	該当/頁	104,105
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）		新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により、事業実施が困難になり、事業費が減額したため						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和4年度 特定財源 内訳	13,248	0	0	0	3,924	9,324		
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他	協働のまちづくり事業助成金：3,924千円						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	地域課題の解決や地域資源を活かし、まちづくりビジョンの実現や新たな地域資源を創造する住民の主体的な活動を推進するため、18住民自治組織へ支援を行った。							
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<b>負担金、補助及び交付金（⑤補助金（補助費））13,248,000円</b>  住民自治組織が掲げる、まちづくりビジョンの実現に向けた取組に対し支援を行った。							
								
別添資料等	無 (事業一覧等)							
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	地域課題の解決のために、地域資源を活かし、地域まちづくりビジョンの実現に向けて、住民の主体的な活動を支援することで、特色ある地域づくりを推進する住民の自主的な活動につながった。							



款	項	目	担当部局・課名		地域振興部地域振興課		
2	1	8					
事業名			元気な地域創造施設整備支援事業				
事業区分		継続事業	第5節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 報償費 (①委員等謝礼)		90	70	0	20	78.0%
	② 旅費 (②普通旅費)		8	3	0	5	38.0%
	③ 需用費 (③食糧費)		1	0	0	1	0.0%
	④ 負担金, 補助及び交付金 (⑥補助金 (建設単独))		10,000	8,607	0	1,393	86.0%
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			8,680	決算に関する説明書
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →				該当/頁 102,103
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			8,680	該当/頁 104,105
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		補助金申請額が, 予算額を下回ったため					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和4年度 特定財源 内訳	8,680		0	0	0	0	8,680
	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金						
	県支出金						
	負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	地域資源を活かしながら, 地域活性化, 産業活性化をめざす市民が, 関係者等と連携した主体的な取組を推進するため, 評価委員会において採択された2つの事業に対し支援を行った。						
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	負担金, 補助及び交付金 (⑥補助金 (建設単独)) 8,607,000円 (単位: 千円)						
	事業名	地区名	主な事業内容	事業費	補助額		
	三次市青果の産直スーパー Yotte-ne 吉舎は福六! 元気拠点創造事業	三次町 吉舎町	施設の看板整備 陳列棚の整備 旧郵便局舎の改修	5,518 16,060	2,507 6,100		
別添資料等	無 (事業一覧等)						
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	地域資源を活かした, 元気な地域づくり, 新たなチャレンジ, ツナガリ人口の拡大などにつながる公益性の高い事業に取組む上で必要となる施設整備に対し支援を行うことで, 地域活性化, 産業活性化に寄与した。						



三次市青果の産直スーパー-yotte-ne  
(三次フードセンター株式会社)



福六! 元気拠点創造事業  
(一般社団法人 湖城生活活性協議会  
社会福祉法人 優輝福祉会)

款	項	目	担当部局・課名		地域振興部地域振興課			
2	1	8						
事業名			自治振興活動費補助事業					
事業区分		継続事業（内容見直し）		第5節 参加と行動による、つながる「しくみづくり」				
節名称				予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 負担金, 補助及び交付金 (⑨交付金)			166,831	166,831	0	0	100.0%
	②						0	
	③						0	
	④						0	
	⑤						0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			166,831	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →				該当/頁	102,103
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			166,831	該当/頁	104,105
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	166,831		0	0	0	0	166,831	
	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	地域住民自ら地域の課題に対応し、生涯学習の推進と地域活動の実践を通して地域活性化を図り、住民自治のまちづくりを進めていくため、19地区の住民自治組織に支援を行った。							
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<b>負担金, 補助金及び交付金 (⑨交付金) 166,831,000円</b>							
	各住民自治組織において、地域で掲げるまちづくりビジョンの実現に向けた取組が推進するために、「自治活動支援交付金」を交付しました。							
別添資料等  有  (事業一覧等)								
	ハイヅカ湖畔ウォーク大会			まちづくり研修会				
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	各地域のまちづくりビジョンの実現に向けた取組を推進するための支援により、人口の社会増や自主的な活動など一定の成果を見ている。R4年度は、一部の住民自治組織において、地域イベントが開催されるなど、コロナ禍において少しずつではあるが地域の賑わいづくりに向けた取組が始められた。 また、新たに10月をまちづくり月間と定め、自治活動の周知を行うなど、活動への参画を促す活動も行われている。 今後も各地域が掲げる「地域まちづくりビジョン」に基づき、地域がめざす形を明確にし、自治活動を促進させていくための支援を行うことが必要と考える。							

令和4年度 三次市自治活動支援交付金交付一覧表

組 織 名	交 付 額
河内まちづくり連合会	7,660,000円
三次地区自治会連合会	9,296,000円
粟屋町づくり協議会	7,957,000円
川地連合自治会	8,106,000円
清河自治振興会	7,423,000円
十日市自治連合会	14,000,000円
酒屋地区自治会連合会	8,157,000円
八次地区連合自治会	13,652,000円
和田自治連合会	7,983,000円
神杉地区自治会連合会	7,957,000円
田幸地区町内会連合会	7,901,000円
川西自治連合会	7,728,000円
君田自治区連合会	7,953,000円
布野町まちづくり連合会	7,941,000円
(一般社団法人)作木町自治連合会	7,874,000円
吉舎町自治振興連合会	9,231,000円
三良坂町自治振興区連絡協議会	8,766,000円
三和町自治連合会	8,712,000円
甲奴町振興協議会連合会	8,534,000円
<b>合 計</b>	<b>166,831,000円</b>

款	項	目	担当部局・課名		地域振興部地域振興課		
2	1	8	事業名				三良坂コミュニティセンター耐震化等事業
事業区分		新規事業	第 5 節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	①	委託料 (④調査測量設計監理等委託料)	6,800	6,545	0	255	96.0%
	②					0	
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		6,545	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →			該当/頁	104,105
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		6,545	該当/頁	106,107
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	6,545	0	0	0	6,500	45	
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金						
	県支出金						
	負担金等その他	過疎対策事業債：6,500千円					
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	三良坂コミュニティセンターは昭和48年4月建築で、一部耐震基準を満たしておらず、また、経年劣化による雨漏りも発生しており、利用者の安全確保のため改修を要するため、改修工事に係る設計を行った。						
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<b>委託料 (④調査測量設計管理等委託料) 6,545,000円</b> ※三良坂コミュニティセンター構造：鉄骨造 (S造) 2階建, 延床面積 (1,404㎡)						
							
三良坂コミュニティセンター							
別添資料等	無						
(事業一覧等)							
成果/評価 * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	耐震化や経年劣化部分 (屋上防水, 屋外受電設備更新など) に係る改修工事設計を行った。						

款	項	目	担当部局・課名		地域振興部定住対策・暮らし支援課		
2	1	8					
事業名			みよし暮らし推進事業 (移住者支援)				
事業区分			継続事業		第 3 節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」		
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 07報償費 (⑤その他報償費)		2,520	2,520		0	100.0%
	② 08旅費 (②普通旅費)		257	257		0	100.0%
	③ 12委託料 (①業務委託料 (物件費))		500	500		0	100.0%
	④ 18負担金, 補助及び交付金 (①負担金 (補助費))		126	126		0	100.0%
	⑤ 18負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))		23,556	20,406		3,150	87.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		23,809	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →			該当/頁	108,109
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		23,809	該当/頁	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			補助金の申請が見込みより少なかったため。				
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和4年度 特定財源 内訳	23,809		0	0	0	0	23,809
	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金						
	県支出金						
	負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			三次市への移住・定住を促進するために、移住コーディネーターを配置した相談体制の充実を図り、定住フェアなどのイベントに参加して三次暮らしを紹介し、移住・定住を図った。また、各種補助事業により移住促進を行った。				
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等			<p><b>報償費 (⑤その他報償費) 2,520千円</b> ・移住コーディネーター報償費 210千円×12月分</p> <p><b>旅費 (②普通旅費) 257千円</b> 定住イベントへの出張旅費</p> <p><b>委託料 (①業務委託料 (物件費)) 500千円</b> ・定住ポータルサイト運営サポート業務委託料 499,400円</p> <p><b>負担金 (補助及び交付金, ①負担金 (補助費)) 126千円</b> ・ふるさと回帰支援センター負担金 50,000円 ・広島県交流・定住促進協議会負担金 76,000円</p> <p><b>負担金 (補助及び交付金, ⑤補助金 (補助費)) 20,406千円</b> ・移住者住宅取得奨励金 (45件) 6,750,000円 ・Uターン者実家等改修補助金 (22件) 7,824,000円 ・空き家バンク改修補助金 (7件) 5,062,000円 ・移住コーディネーター活動補助金 770,000円</p>				
別添資料等  無  (事業一覧等)			 <p>三次まるとつなぐセミナー in TOKYO</p>				
成果/評価  * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか			<p>令和3年度から設置した移住コーディネーターを中心に、集落支援員と連携し、移住希望者の相談に対して丁寧に対応している。年々、移住希望者の相談と空き家バンク登録の相談が増えている。</p> <p>また、対面での相談会が復活したので、ふるさと回帰支援センターや広島県主催の移住フェアへ積極的に参加した。他に三次市単独の移住フェアを実施するなど、移住希望者へ三次暮らしを勧めることができた。継続して情報発信等を実施し、SNSでは、三次市の日常の写真や季節の風景を紹介し、情報発信に努めた。</p> <p>定住に関する補助事業については、210人の移住につながった。</p>				



款	項	目	担当部局・課名		地域振興部定住対策・暮らし支援課			
2	1	8	事業名				地域おこし協力隊事業	
事業区分		継続事業		第 3 節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」				
節名称				予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	①	07報償費 (⑤その他報償費)		9,600	9,600		0	100.0%
	②	18負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))		9,400	9,400		0	100.0%
	③						0	
	④						0	
	⑤						0	
補正 区分	6月補正		12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		19,000	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			該当/頁	108,109
	臨時会 補正			⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		19,000	該当/頁	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和4年度 特定財源 内訳	19,000	0	0	0	0	19,000		
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	人口減少・少子高齢化が進む本市において、都市部などの地域外から移住した地域おこし協力隊委員が地域活動や農業などへ従事しながら、最終的に地域の担い手として定着を図る。							
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<b>報償費 (⑤その他報償費) 9,600千円</b> ● 地域おこし協力隊報償費 (200千円/月×12か月×4人) 隊員1名中途退任による減額(3月補正)							
	<b>負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 9,400千円</b> ● 地域おこし協力隊活動補助金 4人分×1,600,000円 ● 地域おこし協力隊起業支援補助金 3人×1,000,000円							
別添資料等	無							
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行了ことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	令和4年度は4人の地域おこし協力隊を委嘱した。令和4年度で任期を終える2人の隊員については、それぞれ任期終了後も、市の振興作物であるハウレンソウ・ブドウで市内に新規就農者として定着をしている。また2人も継続して活動している。 令和3年度に任期を終えた3人の協力隊から申請のあった、起業支援補助金を交付し、新規就農への支援を行った。							



4月の地域おこし協力隊委嘱式



アスパラやぶどうの作業をする協力隊員

款	項	目	担当部局・課名		
2	1	8	地域振興部定住対策・暮らし支援課		
事業名			ふるさと納税事業		
事業区分		継続事業	第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」		
節名称			予算現額	決算額	
事業 (経費) 内の主 な費目	①	11役務費, ①通信運搬費	523	523	
	②	11役務費, ④手数料	616	600	
	③	12委託料, ①業務委託料 (物件費)	36,414	36,057	
	④	12委託料, ③施設機器等管理委託料	396	396	
	⑤	13使用料及び賃借料, ⑨その他使用料及び賃借料	6,184	6,105	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) → 43,681 決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 → 318 該当/頁 108,109		
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 → 43,999 該当/頁		
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳			一般財源
		国庫支出金	県支出金	市債	
令和4年度 特定財源 内訳	43,999	0	0	0	43,999
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金				
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	三次市が進めるまちづくりに関する各事業に対して、全国から寄附を募集した。また、寄附のお礼として、三次市の特産品などを送ることにより、三次市の魅力の発信とともに、産品取扱い事業者や生産者の支援を行った。				
	<b>需用費 (④印刷製本費) 118千円</b> ・窓あき封筒, お礼状増刷 107,800円 マルチペイメント専用納付書印刷 9,240円 <b>役務費 (①通信運搬費) 523千円</b> ・受領証明書の発送等 522,244円 <b>役務費 (③広告料) 200千円</b> ・製品の魅力発信 (ネット広告) <b>役務費 (④手数料) 600千円</b> ・ふるさと納税特産品発送業務委託料 ふるさとチョイス (GMO決済手数料) 261,401円 ANA (クレジット決済手数料) 55,132円 収納代行業務委託手数料 (ふるさとチョイス) アマペイ他 282,763円 <b>委託料 (①業務委託料 (物件費)) 36,057千円</b> ・ふるさと納税特産品発送業務委託料 お礼産品代 25,383,904円, お礼産品送料 6,643,083円, 発送手数料 3,269,000円 さとふる委託料 760,320円 <b>委託料 (③施設機器等管理委託料) 396千円</b> ・ふるさと納税管理システム保守業務委託料 (33,000円/月×12ヵ月) <b>使用料及び賃借料 (⑨その他使用料及び賃借料) 6,105千円</b> ・ふるさと納税申込フォーム利用料 ふるさとチョイス 1,887,629円, 楽天 3,934,103円, ANA 282,568円				
別添資料等	無				
(事業一覧等)					
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	令和4年10月から申込サイトを1社増やしたことも影響し、前年度より774件の寄附件数が増え、1,400万円余り増額となった。また、ガバメントクラウドファンディングによりカーター記念球場のトイレ改修を呼び掛けたところ、158件、217万7,557円の寄附が寄せられ、トイレの改修の財源に充てることができました。 ※令和4年実績：6,009件、90,490千円 (令和3年度：5,235件、76,267千円)				

款	項	目	担当部局・課名	地域振興部定住対策・暮らし支援課			
2	1	8					
事業名		生活交通確保対策事業					
事業区分	継続事業		第 2 節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 12委託料 (①業務委託料 (物件費))		53,000	51,172		1,828	97.0%
	② 18負担金, 補助及び交付金 (①負担金 (補助費))		18,293	17,941		352	98.0%
	③ 18負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))		193,066	179,458		13,608	93.0%
	④ 19扶助費 (①扶助費)		3,000	1,632		1,368	54.0%
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		250,203	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →			該当/頁	108,109
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		250,203	該当/頁	110,111
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		・路線バス等運行補助金について、新型コロナウイルス感染拡大の影響による収入の減及び費用の増による申請額の増額を見込んでいたが、見込みを下回ったため。 ・相乗りタクシーの利用が見込みより増えなかったため。					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和4年度 特定財源 内訳	250,203		0	4,103	0	0	246,100
	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金						
	県支出金		市町等運行路線再編促進費補助金				
負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	令和3年3月に策定した地域公共交通計画に基づき、通勤や通院、通学、買い物といった市民の日常生活に係る移動手段を維持・確保するため、路線バスに対する運行支援や市民バスの運行業務委託を行うほか、相乗りタクシー事業による公共交通空白地の解消を図る。						
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<b>委託料 (①業務委託料 (物件費)) 51,172千円</b> ● 市民バス運行業務委託料 51,171,809円 三次市民バス (君田町, 布野町, 作木町, 吉舎町, 三和町, 甲奴町) の運行業務委託料 <b>負担金, 補助及び交付金 (①負担金 (補助費)) 17,941千円</b> ● 三次市地域公共交通会議負担金 8,111,577円 (※自家用有償運送 (さくぎニコニコ便) の運行支援 1,963,231円を含む) ● 三江線沿線地域公共交通活性化協議会負担金 200,000円 ● 三江線代替バス (式敷三次線) 運行負担金 9,628,722円 <b>負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 179,458千円</b> ● 生活交通維持対策補助金 ・路線バス (備北交通, 中国バス, 十番交通, 君田交通) の 運行維持に係る補助金 173,645,597円 ・ふれあいタクシーみらさか (三次広域商工会) の運行維持に係る補助金 5,812,276円 <b>扶助費 (①扶助費) 1,632千円</b> ● 相乗りタクシー事業助成費 1,631,700円 ・運行地区 21地区 申請者数 50人						
	別添資料等  無  (事業一覧等)						
成果/評価  * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	鉄道を含めた路線バスなどの広域幹線交通と、市街地循環バス、三次市民バス、ふれあいタクシーみらさかなどの地域内交通の組み合わせにより、通勤、通学、買い物といった市民の日常生活に係る移動を支えた。路線バスや三次市民バスについては、利用実態に即した効率的路線への再編を実施し、乗りやすいバスの運行を実施した。 また、公共交通網が不十分な地域への対策として、継続して三次市相乗りタクシーの事業や、地域のNPO法人が運行する自家用有償旅客運送への支援を実施して、公共交通空白地の解消を図った。						


款	項	目	担当部局・課名	地域振興部定住対策・暮らし支援課			
2	1	8					
事業名		J R 芸備線・福塩線利用促進事業					
事業区分	継続事業		第 2 節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	①	12委託料 (①業務委託料 (物件費))	3,700	340		3,360	9.0%
	②	18負担金, 補助及び交付金 (①負担金 (補助費))	1,300	1,188		112	91.0%
	③	18負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))	9,712	3,909		5,803	40.0%
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		5,437	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			該当/頁	108,109
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		5,437	該当/頁	110,111
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		バス&レールどっちも割の販売枚数が想定を下回ったこと, 新たに実施した J R 線都市間往復利用促進実証実験事業も, 実績が想定を大きく下回ったため, 不用額が生じたもの。					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	5,437	1,160	432	0	0	3,845	
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金					
	県支出金	鉄道のNWを活かした中山間地域の魅力向上事業費補助金					
	負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	JR芸備線及び福塩線の沿線自治体等と連携し, 路線の維持と沿線地域の活性化を図るため, 利用促進に向けた事業を行う。 三次市独自の利用促進等を行う。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<b>委託料 (業務委託料 (①物件費)) 340千円</b> ● J R 線都市間往復利用促進実証実験事業 339,911円						
	<b>負担金, 補助及び交付金 (①負担金 (補助費)) 1,188千円</b> ● 芸備線対策協議会負担金 602,400円 ・芸備線沿線自治体 (広島市, 安芸高田市, 三次市, 庄原市) で構成する協議会による芸備線の利用促進策の実施に係る負担金 ● 福塩線対策協議会負担金 219,000円 ・福塩線沿線自治体 (福山市, 府中市, 世羅町, 三次市) で構成する協議会による福塩線の利用促進策の実施に係る負担金 ● 広島広域都市圏による接続的鉄道ネットワークに向けた取組に係る負担金 366,000円						
別添資料等 無 (事業一覧等)	<b>負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 3,909千円</b> ● 三次市地域間幹線公共交通機関利用促進事業補助金 (「バス&レールどっちも割きっぷ」販売支援) 3,383,000円 年間販売実績: 7,199枚 ● J R 線都市間往復利用促進実証実験事業補助金 526,000円 販売実績: 526枚						
	どちらも割きっぷチラシ						
成果/評価 * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	さまざまなイベントを通じて, 鉄道に興味を持っていただき, 芸備線や福塩線の沿線の活性化を図ることができた。新たに実施したサイクルトレインは新しい鉄道の利用を提案できる内容となった。 また, バス&レールどっちも割きっぷの販売は, その利用が広がっており, 車から公共交通に代えて利用した事例も見られ, 一定の効果があつた。しかし新型コロナウイルス感染症の影響があり, 当初予定していた件数には及ばなかった。						





芸備線サイクルトレイン



どちらも割きっぷチラシ

款	項	目	担当部局・課名	地域振興部定住対策・暮らし支援課			
2	1	8					
事業名		新型コロナウイルス感染症対応事業					
事業区分	継続事業		第 2 節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	①	18負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))	10,000	3,383		6,617	34.0%
	②					0	
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		3,383	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →			該当/頁	112,113
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		3,383	該当/頁	114,115
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		バス&レールどっちも割の販売枚数が想定を下回ったため。					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	3,383	1,160		0	0	2,223	
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金					
	県支出金 負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	三次市独自の利用促進等を行う。						
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<p><b>負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 3,383千円</b></p> <p>● 三次市地域間幹線公共交通機関利用促進事業補助金 (「バス&amp;レールどっちも割きっぷ」販売支援) 3,383,000円 年間販売実績: 7,199枚</p>  <p>どっちも割きっぷチラシ</p>						
別添資料等  無 (事業一覧等)							
成果/評価  * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	バス&レールどっちも割きっぷの販売は, その利用が広がっており, 車から公共交通に代えて利用した事例も見られ, 一定の効果があつた。しかし新型コロナウイルス感染症の影響があり, 当初予定していた件数には及ばなかつた。						

款	項	目	担当部局・課名				
2	1	9	地域振興部 定住対策・暮らし支援課				
事業名			グローバル人材育成事業補助金				
事業区分		継続事業	第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	①	負担金, 補助金及び交付金 (⑤補助金 (補助費))	300	147	0	153	49.0%
	②					0	
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			147	決算に関する説明書
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁 118,119
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			147	該当/頁 120,121
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	147	0	0	0	0	147	
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金						
	県支出金						
	負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	市内高等学校での国際交流活動等を通して語学力の向上や異文化への理解を育み, 国際感覚豊かな人材を育成することを目的として, 市内高等学校において実施される国際交流活動等に対し補助金を交付する。						
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<b>負担金, 補助金及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 147千円</b> ・グローバル人材育成事業補助金 147,000円 広島県立日彰館高等学校において実施された国際交流事業に対し, 補助金を交付して活動を支援した。 1. 吉舎おもてなしプラン 【内容】 吉舎で学ぶ生徒が広島大学の留学生に地域・日本文化の紹介, 吉舎町歩きガイドツアーを通したおもてなし, 英語を使った活動を実施した。 【参加者】 日彰館高等学校生徒147名, 吉舎中学校9名, 広島大学留学生34名, 吉舎地域住民1名  吉舎おもてなしプラン						
	別添資料等 無 (事業一覧等)	【内容】 台湾と日本の比較を通して物事を相対的に捉える見方・考え方を養う異文化比較研究において, 台湾文化の情報を収集するために, 台湾からの留学生を講師として招き, 高校生が質問した。 【参加者】 日彰館高等学校 2 年生52名, 留学生2名 (県立広島大学・広島大学)					
成果/評価 * 事業を執行したことにより, どのような成果や効果をもたらしたのか	実施後, 生徒からは留学生との交流を通して自分の語学力を見直すきっかけになり, 多様性を認め合うことへの理解が深まったという感想が得られており, 語学力の向上や異文化への理解を育むことに一定の成果があった。						

款	項	目	担当部局・課名				地域振興部 定住対策・暮らし支援課					
3	1	5	事業名								人権啓発事業	
事業区分			継続事業				第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」					
節名称						予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%		
事業 (経費) 内の主 な費目	① 報償費 (②講師謝礼)					377	285	0	92	76.0%		
	② 報償費 (③その他報償費)					702	476	0	226	68.0%		
	③ 需用費 (④消耗品費)					334	304	0	30	91.0%		
	④ 委託料 (①業務委託料 (物件費))					500	187	0	313	37.0%		
	⑤ 負担金, 補助金及び交付金 (⑤補助金 (補助費))					163	163	0	0	100.0%		
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥ (①~⑤の計) →		1,415	決算に関する説明書				
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		452	該当/頁 150,151				
	臨時会 補正				⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		1,867	該当/頁 152,153				
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)												
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源					
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他						
令和4年度 特定財源 内訳	1,867		0	187	0	0	1,680					
	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称									
	国庫支出金											
	県支出金		人権啓発活動地方委託金 (65千円), 地域日本語教室を核とした多文化共生の地域づくり支援事業委託金 (122千円)									
	負担金等その他											
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	互いの違いをともに認め合い, 支え合う, 「みんな違う・みんな同じ」の人権尊重意識の普及高揚を図るため, 「ひと・かがやきフェスタ」を開催するなど, 人権啓発事業を実施する。また, 在住外国人が暮らしやすい環境づくりを推進するため, 外国人のための生活相談や日本語学習支援を実施する。											
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<b>報償費 (②講師謝礼) 285千円</b> ・PTA人権教育講演会 40,370円 ・外国人相談に係る講師謝礼 122,232円 ・日本語学習支援スタッフ養成講座講師謝礼 122,224円 <b>報償費 (③その他報償費) 476千円</b> ・日本語指導謝礼 442,830円 ほか <b>需用費 (④消耗品費) 304千円</b> ・人権ハート絵かがやきメッセージ展 29,590円 ・「人権の花」運動 107,500円 ・人権啓発冊子 122,403円 ほか <b>委託料 (①業務委託料 (物件費)) 187千円</b> 「ひと・かがやきフェスタ2022」講師委託料 186,300円 ・LGBT講演会: 清水 展人さん「女らしく, 男らしく自分らしく生きる~すべての人の性が尊重される社会へ~」 ・日時: 令和4年12月4日(日) 13時30分から15時30分まで ・参加人数: 90人 ・同時開催: “社会を明るくする運動”作文コンテスト表彰式, 中学生人権作文表彰者による作文朗読, 人権ハート絵かがやきメッセージ, 啓発パネルの展示  人権ハート絵かがやきメッセージ展  ひと・かがやきフェスタ2022講演会											
	別添資料等  無  (事業一覧等)	<b>負担金, 補助金及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 163千円</b> ・三次地区保護司会補助金 163,000円										
成果/評価  * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	・外国人のための生活相談窓口を開設し, 令和4年度は51件の相談に対応した。 ・みよし日本語教室を開催し, 在住外国人の日本語能力の習得を支援するとともに, 日本語学習支援スタッフ養成講座を実施した。みよし日本語教室の学習希望者が増えている一方でスタッフの不足が課題であったが, 養成講座の開催によりスタッフ登録者が増加し, すべての学習希望者に対応することができた。 ・「ひと・かがやきフェスタ2022」ではLGBT講演会を開催し, 性的マイノリティへの理解を深め, 自分らしく生きることの大切さを感じていただくことができた。											

款	項	目	担当部局・課名		
3	1	5	地域振興部 定住対策・暮らし支援課		
事業名			平和推進事業（平和祈念事業）		
事業区分			第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」		
節名称			予算現額	決算額	
事業 (経費) 内の主 な費目	① 報償費（⑤その他報償費）		21	21	
	② 需用費（①消耗品費）		30	8	
	③ 負担金、補助及び交付金（⑤補助金（補助費））		725	386	
	④				
	⑤				
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） → 415		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 → 1		
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 → 416		
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和4年度 特定財源 内訳	416	0	0	0	0
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金				
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	平和を願う思いの継承と市民意識の高揚を図るため、「平和の灯ろうコンテスト」、「平和のつどいMIYOSHI2022」等の平和推進事業（平和祈念事業）を実施する。				
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<b>報償費 ⑤その他報償費 21千円</b> ・平和の灯ろうコンテスト（景品） 4部門×3賞 20,736円 <b>需用費 ①消耗品費 8千円</b> ・平和の灯ろうコンテストの開催及び表彰に係る消耗品 7,120円 <b>負担金、補助金及び交付金 ⑤補助金（補助費） 386千円</b> ・平和のつどい実行委員会補助金 260,838円 【内容】「平和のつどいMIYOSHI2022」（「平和の灯ろうコンテスト」「平和への想い」の作品表彰など） 【開催日】令和4年8月5日 ・三良坂平和を願う会補助金 125,000円				
	別添資料等 無 (事業一覧等)	   平和のつどいMIYOSHI2022 第10回平和の灯ろうコンテスト 作品展示 平和の折り鶴献納			
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	広島平和記念公園に手向けられた平和への願いが込められた折り鶴を活用する「折り鶴に託された思いを昇華させる取組」として、その折り鶴を使って灯ろうを制作し、「平和の灯ろうコンテスト」として実施することを広く市民に呼びかけ、市内外の福祉施設や小中学校の児童・生徒などから419点の応募があり、市民約200人が参加した。 また、平和への想いを込めた折り鶴の募集には、市民から27,243羽が寄せられ、恒久平和への願いとともに広島平和記念公園の「原爆の子の像」に手向けた。 多くの市民参加による平和推進事業を（平和記念事業）を展開することで、恒久平和の願いの浸透を図ることができた。				



款	項	目	担当部局・課名	地域振興部・定住対策・暮らし支援課			
3	1	5					
事業名		男女共同参画推進事業					
事業区分	継続事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 委託料 (①業務委託料 (物件費))		444	209		235	47.0%
	② 負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))		2,075	1,969		106	95.0%
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		2,178	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正 ○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		203	該当/頁	152,153
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		2,381	該当/頁	154,155
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	2,381	0	0	0	0	2,381	
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金						
	県支出金						
	負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	「三次市男女共同参画基本計画 (第4次) ~一人ひとりがしあわせな社会をめざして~」に基づき, 市民一人ひとりが自らの選択によって仕事と地域活動を含めた暮らしの両方において充実した人生が送れるよう, 男女が個人として能力を發揮する機会が確保され, とともに活躍できる社会の実現をめざし, 男女共同参画推進事業を実施する。						
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<b>委託料 (①業務委託料 (物件費)) 209千円</b> ・男女共同参画推進講演会 講師委託料 99,000円 男女共同参画週間に合わせて, 講演会を行い男女共同参画について理解の浸透を図った。 ・MIYOSHI2023国際女性デー 男女共同参画推進講演会 講師委託料 110,000円 男女共同参画推進講演会を行い, 男女共同参画について考えていただく機会を提供した。						
	<b>負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 1,969千円</b> ・三次市女性連合会補助金 1,537,680円 男女共同参画社会の実現を活動目標に掲げている三次市女性連合会に対し, 補助金を交付して活動を支援した。 ・三次市女性活動サポート事業補助金 430,995円 市民を対象に実施した男女共同参画推進事業に対し, 補助金を交付した。						
別添資料等	無						
成果/評価 * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	「男女共同参画基本計画 (第4次)」では, 令和8年度までに「社会全体として男女平等である」と感じている市民の割合50%を総合指標に掲げており, 男女共同参画推進講演会を実施し, 男女共同参画について考えていただく機会を提供した。また, 広報紙, HP等も活用しながら市民啓発を実施し, 男女共同参画の理解の浸透を図った。今後も様々な手法により市民啓発に取り組んでいく。 また, 三次市女性連合会の活動を支援し, 講演会や研修会等を通じて男女共同参画を推進した。						



MIYOSHI2023国際女性デー  
男女共同参画推進講演会


款	項	目																						
7	1	2	担当部局・課名	地域振興部 定住対策・暮らし支援課																				
事業名			女性活躍推進プラットフォーム事業																					
事業区分			第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」																					
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%																	
事業 (経費) 内の主 な費目	① 委託料 (①業務委託料 (物件費))		10,154	10,132		22	100.0%																	
	② 備品購入費 (③その他備品購入費)		300	299		1	100.0%																	
	③					0																		
	④					0																		
	⑤					0																		
補正 区分	6月補正	○ 12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		10,431	決算に関する説明書																		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		357	該当/頁	226,227																	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		10,788	該当/頁																		
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)																								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源																		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他																			
令和4年度 特定財源 内訳	10,788	2,500	0	0	300	7,988																		
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称																						
	国庫支出金	地域女性活躍推進交付金 (2,500千円)																						
	県支出金																							
	負担金等その他	商工費寄附金 (300千円)																						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	女性の活躍推進・就業率向上を目指して、それぞれのライフステージに合わせた、女性の多様な選択やチャレンジを支援し、女性の「働く」を応援する環境整備の一環として、女性活躍推進プラットフォーム事業「アシスタ lab.」を開設し、起業・就業の機運醸成と必要な支援を行う。 ○アシスタ lab.における女性の起業・就業支援のセミナー、専門家による個別相談、交流会等 ○女性起業家「みよしアントレヌ」認定証の制作																							
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	委託料 (①業務委託料 (物件費)) 10,132千円 ・女性起業支援業務委託料 委託料 9,999,132円 委託内容 起業(創業)セミナー、就職セミナー、専門家による個別相談、交流会、会員によるトライアルチャレンジ、コーディネーター業務など ・女性起業家「みよしアントレヌ」認定証作成業務委託料 委託料 132,000円 R4年度みよしアントレヌ認定件数 12件				<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R4実績</td> </tr> <tr> <td>会員数(累計)</td> <td>460人</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>2,070人</td> </tr> <tr> <td>セミナー</td> <td>17回</td> </tr> <tr> <td>個別相談</td> <td>21日</td> </tr> <tr> <td>交流会</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>出張教室</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>アントレヌ</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>認定数</td> <td>(累計)80人</td> </tr> </table>			R4実績	会員数(累計)	460人	利用者数	2,070人	セミナー	17回	個別相談	21日	交流会	4回	出張教室	6件	アントレヌ	12人	認定数	(累計)80人
		R4実績																						
会員数(累計)	460人																							
利用者数	2,070人																							
セミナー	17回																							
個別相談	21日																							
交流会	4回																							
出張教室	6件																							
アントレヌ	12人																							
認定数	(累計)80人																							
別添資料等 無 (事業一覧等)	 専門家による個別相談の様子		 創業セミナーの様子																					
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	起業者数(みよしアントレヌ認定件数)は、毎年目標(10人/年度)を達成しており、女性のそれぞれのライフステージに合わせた、コーディネーターや各分野の専門家による個別相談など、多様な働き方が選択できるような伴走型の支援が成果を上げているといえる。年々会員数も増加しており、着実に実績を積み重ねている。 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策による施設利用の人数制限があり、定員数が限られるなか、セミナーを複数回に分けて開催し、継続して支援を行った。 令和3年度から引き続き、三次市へ移住・定住し、起業・就業を希望する女性を対象に、専任の移住コーディネーターによる移住・定住相談会をアシスタ lab.で実施するなど、新規会員獲得、会員同士の繋がりの創出に取り組んだ。																							


款	項	目	担当部局・課名	地域振興部地域振興課					
10	5	5							
事業名		スポーツのまちみよし応援事業							
事業区分	継続事業 (拡充)		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」						
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%		
事業 (経費) 内の主 な費目	①	負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))	9,600	8,766	0	834	91.0%		
	②					0			
	③					0			
	④					0			
	⑤					0			
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		8,766	決算に関する説明書			
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	284,285		
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		8,766	該当/頁			
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和4年度 特定財源 内訳	8,766	0	1,980	0	6,785	1			
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金	わがまちスポーツ推進補助金: 1,980千円							
	負担金等その他	スポーツ・文化みよし夢基金: 6,785千円							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	「いつでも」、「どこでも」、「誰も」が普段の生活の中で自然とスポーツに親しみ、健康でいきいきと活力あふれる「スポーツのまちみよし」を実現することを目的に、「スポーツのまちみよし応援事業実行委員会」が中心となり、関係団体の参画でスポーツの推進、市内のスポーツ関連情報を戦略的に発信し市民の関心を高めるための事業を実施する。								
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<b>負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 8,765,735円</b> <b>【事業内容】</b> ①地元チームを応援事業 ②子どもの夢を応援事業 ③大会・合宿誘致事業 ④女子スポーツ応援事業 ⑤Sport in Life推進事業								
	 ③④侍ジャパン女子代表候補合宿		 ①アンジュヴィオレ広島公式戦		 ②広島ドラゴンフライズ学校訪問事業		 スポーツコミッション研修会		 ⑤チャレンジデー
別添資料等  無 (事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	女子野球を中心に、「いつでも」、「どこでも」、「誰も」がスポーツを楽しみ、継続できる新たな取組をスタートさせている。また、スポーツを通して地域活性化していくための仕組みづくりにも着手した。地元のトップアスリートやチームと子どもたちが交流し、夢を実現できる取組や侍ジャパン女子代表候補合宿をはじめ、新たな大会や合宿を誘致することができた。								

款	項	目	担当部局・課名	地域振興部地域振興課			
10	6	2					
事業名			カーター記念球場トイレ改修事業				
事業区分		新規事業	第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 委託料 (④調査測量設計監理等委託料)		900	814	0	86	90.0%
	② 工事請負費 (①工事請負費)		12,300	12,206	0	94	99.0%
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		13,020	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	286,287
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		13,020	該当/頁	288,289
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	13,020	0	0	10,800	2,178	42	
	財源区分 補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金						
	県支出金						
	負担金等その他		過疎対策事業債: 10,800千円 ふるさと納税寄付金: 2,178千円				
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	本施設は、平成4年に建設され、中体連の野球大会をはじめ市内外から幅広い用途で利用されているが、本部側トイレは、男女兼用の汲取り式(ポットン型和式便所)で悪臭や害虫など衛生的にも課題がある。そのため男女それぞれ専用でできる水洗式トイレとして改修を行うことにより、利用者の安全性確保や快適化、衛生環境の改善を図るものである。						
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	委託料 (④調査測量設計監理等委託料) 814,000円 工事請負費 (①工事請負費) 12,205,600円						
							
別添資料等	2023ルビー・リーグ						
無 (事業一覧等)							
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	トイレを改修したことにより、男女を問わずトイレを快適に利用できるようになり、選手のみならず観客の皆様も含め、より多くの方が利用できるようになった。 今後、新たな大会や合宿も期待できる。						



カーター記念球場トイレ改修状況

款	項	目	担当部局・課名				
2	1	8	地域振興部地域振興課				
事業名			ウチソト“ツナガリ”つなぐ事業				
事業区分			第5節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」				
事業区分			継続事業 (内容見直し)				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 報償費 (②講師謝礼)		92	31	0	61	34.0%
	② 旅費 (②普通旅費)		7	0	0	7	0.0%
	③ 需用費 (①消耗品費)		20	20	0	0	100.0%
	④ 役務費 (①通信運搬費)		15	5	0	10	33.0%
	⑤ 使用料及び賃借料 (③会場使用料)		30		0	30	0.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		56	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			該当/頁	102,103
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		56	該当/頁	104,105
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	56	0	0	0	0	56	
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金						
	県支出金						
負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	県内大学との連携により, 大学生の受入を行い, フィールドワークを行った。大学生と地縁型コミュニティや地域の担い手の繋がる場を設けることで, ツナガリ人口に繋がる取組を行った。						
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<p><b>報償費 (②講師謝礼) 30,555円</b>  <b>需用費 (①消耗品費) 19,914円</b>  <b>役務費 (①通信運搬費) 4,440円</b></p> <p>県内の大学生と住民自治組織や地域の担い手を訪問し, 地域の課題等についての意見交換やフィールドワークを行い, 地域との繋がる場づくりを行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>						
別添資料等	無 (事業一覧等)						
成果/評価 * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	大学生との「つながりの場」の創出については, 一定の効果がみられ関係が継続している地域もある。このような継続した関わりを, 市内に広げていけるよう, つながるきっかけとなる場づくりを行っていく必要がある。						

款	項	目	担当部局・課名		地域振興部 定住対策・暮らし支援課			
2	1	8	事業名 縁つなぐ出会い創出支援事業					
事業区分		新規事業		第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」				
節名称				予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	①	18負担金, 補助金及び交付金 (⑤補助金 (補助費))		1,200	160		1,040	13.0%
	②						0	
	③						0	
	④						0	
	⑤						0	
補正 区分	6月補正		12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		160	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			該当/頁	108,109
	臨時会 補正			⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		160	該当/頁	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		新型コロナウイルス感染症の影響により、婚活事業を実施できなかったため。						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和4年度 特定財源 内訳	160	0	0	0	0	160		
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	少子化の要因の一つである未婚化, 晩婚化の進行に歯止めをかけること及び定住促進を目的として, 多様な出会いの場を積極的に創出する事業を行う市内結婚支援団体に対し, 補助金を交付する。							
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<p><b>【負担金, 補助及び交付金】 160千円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>縁つなぐ出会い創出支援事業補助金 交付件数2件                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○Anno i 107,000円 12/11実施 参加者数 17人 (マッチング3組)</li> <li>○結婚支援グループ 53,000円 3/19実施 参加者23人 (マッチング5組)</li> </ul> </li> </ul>							
別添資料等  無  (事業一覧等)								
成果/評価  * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	コロナ禍ではあったが, 川地地区で婚活事業を実施した団体と, 全市的に実施している団体の婚活事業を支援した。							

款	項	目	担当部局・課名		地域振興部定住対策・暮らし支援課			
2	1	8	事業名				高齢者運転免許自主返納支援事業	
事業区分			継続事業		第2節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」			
節名称				予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	①	19扶助費 (①扶助費)		2,640	2,225		415	84.0%
	②						0	
	③						0	
	④						0	
	⑤						0	
補正 区分	6月補正		12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		2,225	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			該当/頁	108,109
	臨時会 補正			⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		2,225	該当/頁	110,111
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和4年度 特定財源 内訳	2,225	0	0	0	0	2,225		
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	高齢ドライバーの交通事故防止と公共交通機関の利用促進を図るため、運転免許を自主的に返納した65歳以上の高齢者に対し、タクシー利用助成券など公共交通利用促進に係る支援を実施する。							
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<b>扶助費 (①扶助費) 2,225千円</b> ● 高齢者運転免許自主返納支援事業助成費 2,224,500円 ・申請件数 223件 運転免許を自主的に返納した高齢者に対し、次のうちいずれか一つを交付。 ①市民バス等無料利用者証 (2年度間有効) ②広島県交通系ICカードPASPY (1万円分・有効期限なし) ③市内タクシー利用助成券 (1万円分・3年度間有効)							
別添資料等	無							
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	本事業は、三次警察署と連携し、高齢者が運転免許を自主的に返納するためのきっかけとする事業である。令和4年度は223件の免許返納の申請があり、高齢ドライバーの事故防止と公共交通の利用促進を図ることができた。							

款	項	目	担当部局・課名				
2	1	8	地域振興部・定住対策・暮らし支援課				
事業名			ウクライナ避難民生活支援金支給事業				
事業区分		新規事業	第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))		2,340	1,800		540	77.0%
	②					0	
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	<input type="radio"/>	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		1,800	決算に関する説明書
	9月補正		3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0"を挿入 →			該当/頁 112,113
	臨時会 補正			⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		1,800	該当/頁 114,115
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	1,800	1,600	0	0	0	200	
	財源区分						
	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金						
	県支出金						
負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	ロシアによるウクライナへの軍事侵攻により、三次市内に避難されたウクライナ避難民の生活を支援するため、生活支援金を支給し、生活の安定を図る。						
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))						
	・ウクライナ避難民生活支援金 1,800千円 支給対象 ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に起因してウクライナから避難し、三次市に住民登録した者 支給額 1人当たり 月額30,000円 30,000円×5人×12月 = 1,800,000円						
別添資料等	無 (事業一覧等)						
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	ウクライナへの人道支援として、ウクライナ避難民の受け入れを表明し、本市に避難されたウクライナ避難民に対して生活支援金を支給し、日常生活の安定を支援した。						



款	項	目	担当部局・課名				
10	6	2	地域振興部地域振興課				
事業名			みよし運動公園陸上競技場改修事業				
事業区分		新規事業	第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 工事請負費 (①工事請負費)		27,764	26,907	0	857	97.0%
	②					0	
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		26,907	決算に関する説明書	
	9月補正	○ 3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	288
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		26,907	該当/頁	289
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和4年度 特定財源 内訳	26,907	0	0	0	0	26,907	
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金						
	県支出金						
負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	県北における陸上競技をはじめとしたスポーツ活動の拠点として、引き続き、安全で快適なスポーツ環境を提供することにより「スポーツのまちみよし」を推進するため、(公財)日本陸上競技連盟による陸上競技場の第3種公認に必要な改修工事を行ったもの。						
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	工事請負費 (①工事請負費) 26,907,100円						
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>完成検査状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>水郷部分</p> </div>						
別添資料等	無						
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	みよし運動公園陸上競技場を改修することで、中国実業団陸上競技大会等、主要な大会を開催することができた。						

款	項	目	担当部局・課名		地域振興部地域振興課			
10	6	2	事業名 指定管理施設等支援事業					
事業区分		新規事業		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとづくり」				
節名称				予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	①	負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))		1,700	1,700	0	0	100.0%
	②						0	
	③						0	
	④						0	
	⑤						0	
補正 区分	6月補正		12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		1,700	決算に関する説明書	
	9月補正	○	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	288
	臨時会 補正			⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		1,700	該当/頁	289
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和4年度	1,700	0	0	0	0	1,700		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	令和 3 年度に新型コロナウイルス感染症対応として市の要請により閉鎖や使用制限を実施したことに伴う支援金 対象施設：三次市みよし運動公園ほか 3 施設							
事業実績  (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 1,700,000円							
								
別添資料等 無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	市内外の利用者が, 気持ちよく利用できるよみよし運動公園ほか 3 施設の運営経費を下支えすることができた。							